

R 6. 5月号

☆ 上林小学校の教育目標 ☆

自己をひらき、ともに学び、たくましく伸びゆく、上林っ子の育成

令和6年度の学校教育計画(グランドデザイン)について

令和6年度の学校教育計画 (グランドデザイン) につい て説明いたします。

グランドデザインは、 I 年間の見通しが持て、かつ、だれが見ても学校の教育方針が伝わるものが望ましいとされています。そのため、言葉だけでなく、形や色、図形の配置も工夫する必要があります。そこで、次の点に留意して策定しています。

- (I) 前年度までの学校経営・ 運営を尊重しています。
- (2) 学校が頂点で家庭・地域を底辺にした三角形で、基盤にあるコミスクの考え方を強調しています。→学校がしっかりと支えられることで、学校運営が揺るがないことを表現しています。
- (3) 円形の内部は、子供を中 心に据えていることを強調 し、学校の近くに児童像、 家庭の近くに教師像、地域

自己をひらき、ともに学び、たくましく伸びゆく、上林っ子の育成 学校 【校 訓】 正しく 明るく たくましく ○心のこもった挨拶 ○「分かる・できる・楽しい」授業 ○互いに認め合い、高め合う仲間づくり ○児童の能力やよさを伸ばす教師力の向上 【児童像】 よく考え正しく行動する子 明るく思いやりのある子 体験活動 情報共有 心身ともにたくましい子 学校支援 学校支援 情報公開 学校評価 子供がど真ん中 学校評価 【教師像】 【学校像】 児童の能力やよさを伸ばす教師 活力のある学校 ともに学び続ける教師 温もりのある学校 誇りとやりがいを持つ教師 地域とともにある学校 チーム上林 仲びていけ 力のかぎり 家庭 地域 ○体験活動の充実 ○心と体のやすらぐ場 ○規範意識やマナーの学び ○基本的生活習慣の定着 ○安全指導・防災教育の連携 ○家庭学習・読書の習慣化 いつか還る場所 安心して帰る場所 コミュニティ・スクール

<学校の教育目標>

の近くに学校像を配置し、それぞれ密接に関連することを示しています。さらに、家庭・地域の 強い願いとして伝統ある教育碑「伸びていけ 力のかぎり」を家庭・地域の近くに配置しました。 →目指す姿とその関係を示しています。

- (4) 本年度、校長から子供たちに示した「かえる(帰る・還る)」のキーワードを挿入しました。 →こうあってほしいという日々の子供たちの姿、将来の子供たちの姿を示しています。
- (5) デザイン全体の配色明度を上げ、いっそう輝きが増して見えるようにしました。 「地域とともにある学校」として学校・家庭・地域が支えたり支えられたりしながら揺るがない 「上林教育」の実現を目指してまいります。今後もお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

「今後の地域連携活動について」

校区の田が湖面のように輝き、稲が爽やかな風に踊るようになりました。令和6年度も2か月があっという間に過ぎました。この2か月間の様子については、学校ホームページや「コミュニティ・スクールだより」で詳細を発信しています。ぜひ、御覧いただければと思います。

さて、上林小学校は、伝統的に地域と連携した行事やPTAが主体となった活動が充実しています。令和元年度から東温市は「コミュニティ・スクール制度」を導入し、地域連携活動のいっそうの充実を図っています。上林小学校では、十分に地域やPTAとの連携が図られているのに、なぜ、いっそうの充実を図る必要があるのでしょうか。

「コミュニティ・スクール制度」の究極の目標は、持続可能な地域の担い手を育てることにあります。豊かな自然環境や伝統産業と文化、何よりも温かく情に厚い地域性といった「上林小学校区のよさ」を学校教育に浸透させることによって「上林が好き」「上林を誇りに思う」「いつか地域のために働きたい」という想いや願いを育んでいくことがポイントとなってきます。今後の地域連携活動では、「地域から学ぶ(インプット)」ことに加え、「学んだことを発信(アウトプット)」することによっていっそうの充実を図ることができると考えています。

本校では、令和4年度から地域と連携した「ふるさと学習」の取組を始め、子供たちの「上林愛」を醸成しているところです。本年度、上林っ子は、校区にある菅能宇吉氏の石積みの跡を校区の史跡として発信したい、松山城の石積みについて現地で観光客にプレゼンしたい、と考えているようです。どちらもアウトプットまで意識したすばらしいアイデアだと思いませんか。

子供たちは、毎年、夏休み前に緑の少年隊活動の一環として上林森林公園に環境保全を呼び掛けるポスターを製作し、掲示しています。ラミネート加工しているものの、 I 年もたてば風雨にさらされ朽ちてしまいますので、毎年新調しています。ポスターは、デザインの流行もありその年に応じて変えた方が良いものです。ポスターなら図画工作科の時間に製作することができます。しかし、史跡を示す掲示物や案内看板等はどうでしょう。これらは、数年間にわたって使える物の方が良いような気がします。子供たちの想いや願いを実現するためには、学校の学習活動では補いきれないことが課題となることもあります。

そんな時、地域から「看板を作る協力ができる(人を知っている)」「プレゼン制作に協力できる (人を知っている)」などといった協力や情報の提供をいただければ、これほどありがたいことは ありません。今後、学校運営協議会等を通じて地域や保護者の皆様のお知恵や御経験を学校のため にお貸しいただきたいと存じます。重ねてのお願いとなりますが、よろしくお願い申し上げます。

本年度から全国で初めてではないかと思われる高等学校の「教員養成講座」が松山 聖陵高等学校で開講されました。上林小学校では、松山聖陵高等学校ダンス部に運動 会のダンス創作・指導をしていただいております。その御縁もあり、毎月 | 回、講座 を受講し、教職を志望する高校生が上林小学校に来校する予定です。子供たちと触れ 合い、授業補助や見守り活動等、実習します。 | 学期は、5月3 | 日、6月7日に来 校します。

学校の情報は、ほぼ毎日、学校ホームページで発信しています。 アドレスは、 https://kamihayashi-e.esnet.ed.jp/です。 また、右のQRコードを読み取って御覧いただくこともできます。



橋本優里絵先生 作の自画像です